

第 1 章

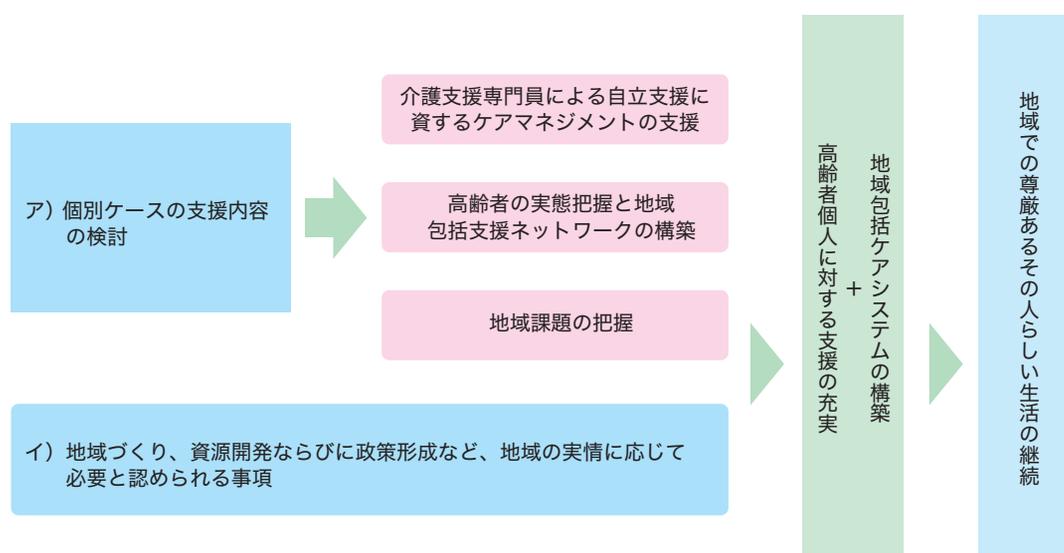
地域ケア会議
とは

1. 地域ケア会議の目的

地域ケア会議は、地域の多様な専門職や住民等が、個々の高齢者等の課題に関して検討することで、高齢者等個人に対する支援の充実とともに、複数の高齢者等に影響を与える地域の課題を把握し、地域づくり、資源開発、政策形成などで、その解決に向けて取り組むことによって、地域包括ケアシステムの構築を推進することを目的としています（図表1）。

つまり、従来から実施されている個別ケースの支援について検討する会議の機能を果たしながら、高齢者等の生活における困難・要望や支援者が認識した課題・要望等を、地域包括ケアシステムの構築に活かすしくみだといえます。これによって、現状に即した地域包括ケアシステムを構築することができるのです。

図表1 地域ケア会議の目的

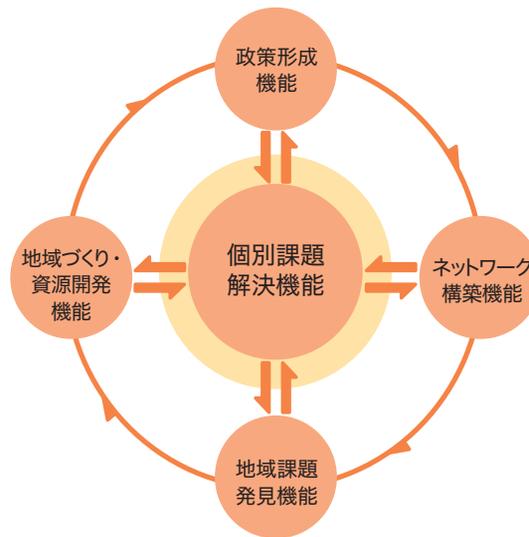


出典：『地域ケア会議運営マニュアル』一般財団法人長寿社会開発センター、2013年、22ページ

2. 地域ケア会議の機能

このような地域ケア会議の目的を達成するためには、高齢者等の個別課題解決機能を中心としながら、ネットワーク構築機能、地域課題発見機能、地域づくり・資源開発機能、政策形成機能を、複数の地域ケア会議を活用することによって発揮させる必要があります（図表2）。

図表2 地域ケア会議の主な機能



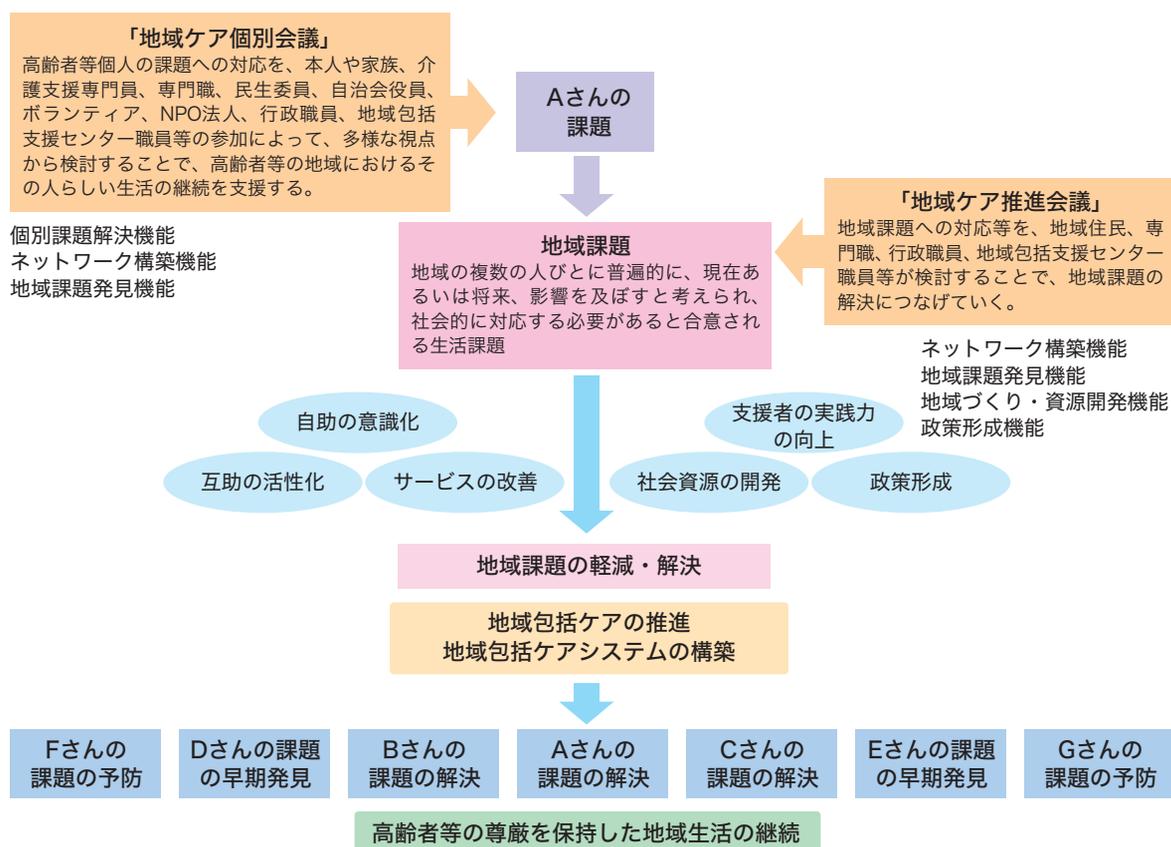
出典：地域包括支援センター運営マニュアル検討委員会編『地域包括支援センター運営マニュアル 3訂』一般財団法人長寿社会開発センター、2022年、66ページ

そのためには、個別ケースについて検討する「地域ケア個別会議」と地域課題について検討する「地域ケア推進会議」を連動させることが不可欠です。

例えば、図表3に示したように、「地域ケア個別会議」において、Aさんの個別課題に関して多様な視点から検討することに留まらず、個別ケースの検討の蓄積から、地域の複数の人びとに普遍的に、現在あるいは将来、影響を及ぼすと考えられ、社会的に対応する必要があると合意される生活課題である地域課題を把握します。そして、「地域ケア推進会議」等で把握・分析・対応を検討し、地域づくり、資源開発、政策形成等で対応することによって地域課題を軽減・解決して、地域包括ケアを推進します。

その結果、Aさんが個別課題を解決できるばかりか、同様の課題を抱えているBさんやCさんも課題を解決でき、かつ同様の課題を抱えるDさんやEさんの課題を早期に発見しやすくなります。さらに、FさんやGさんが同じような課題を経験することがないように予防することができるかもしれません。こうした循環を繰り返しながら、高齢者等が尊厳を保持したその人らしい生活が継続できる地域包括ケアシステムを構築していきます。

図表3 「地域ケア個別会議」と「地域ケア推進会議」の連動による地域包括ケアの推進



出典：東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課『令和元年度自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修事業【文章版研修テキスト】』2020年、32ページを一部改変

医療や介護の需要のピークはもう目前です。一方で、医療や介護の担い手不足が深刻化しているなかで、「点」への支援だけでは対応することは到底できないでしょう。そのため、「点」と「面」とで対応することが必要であり、それを可能にするひとつのツールが地域ケア会議です。